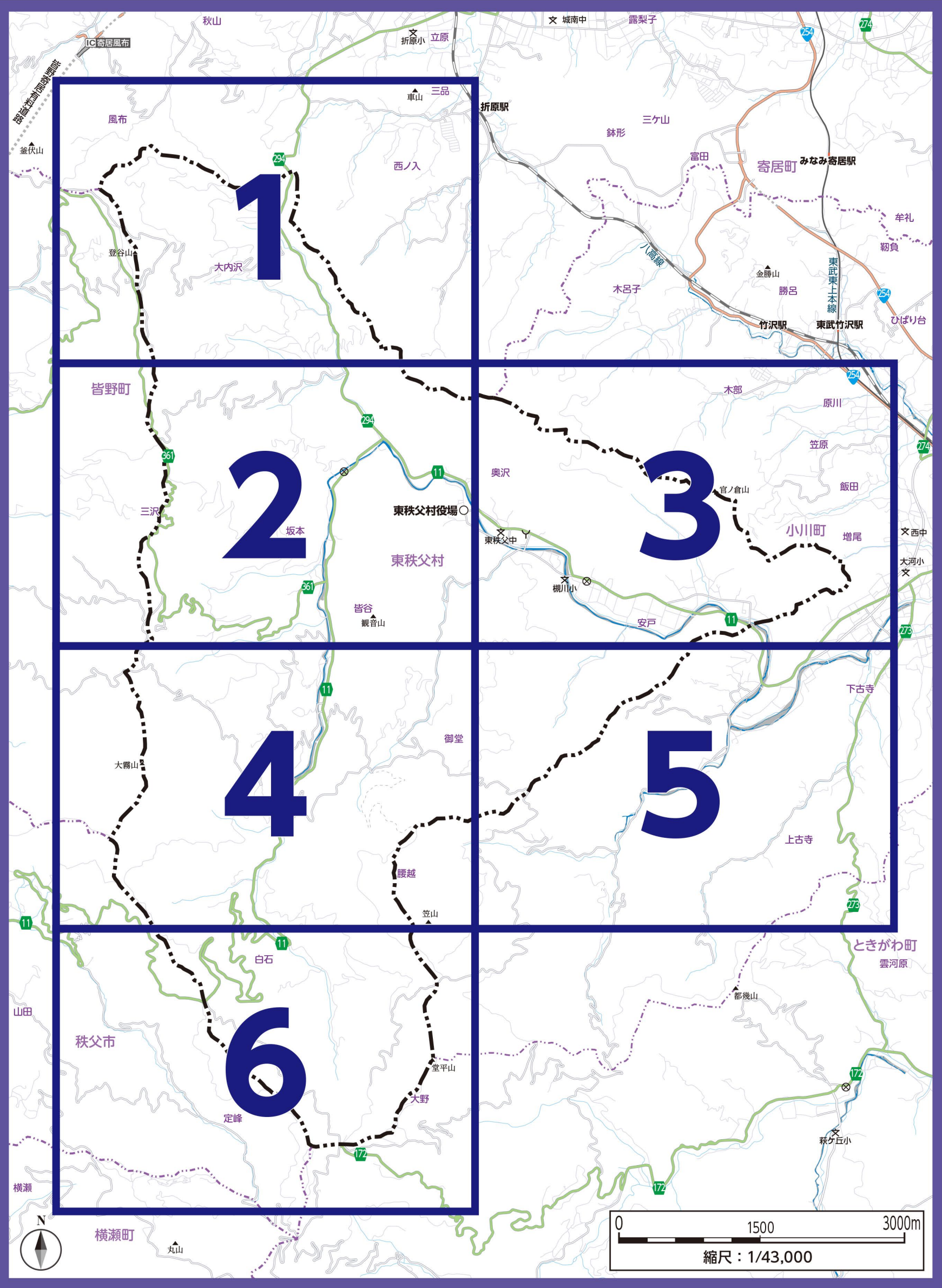


全体索引図



© 2022 ZENRIN CO., LTD.

避難所一覧

- 避難所の種類** [全て東秩父村が指定]
- 0

指定緊急避難場所・指定避難所

災害が発生するおそれのあるときや災害発生時に危険から緊急的に避難し、身の安全を守るための場所です。災害の種類ごとに指定していますので、最寄りの避難所・避難場所に避難してください。
- 0

福祉避難所

一般的な避難所での生活が難しい高齢者や障がい者など、特別な配慮を要する人を受け入れるための避難所です。

避難所種別	名称	所在地	防災倉庫	収容人員	車両収容台数	災害種類		座標
1	高齢者生きがいセンター	安戸432-1	-	64 (32)	-	地震	土砂災害	3 - D - 4
2	東秩父村和紙の里研修会館	御堂441	○	44 (24)	-	地震	土砂災害	3 - B - 3
3	槻川小学校体育館	御堂364-1	○	120 (66)	-	地震	土砂災害	3 - B - 3
4	東秩父中学校体育館	奥沢150	○	301 (165)	-	地震	土砂災害	3 - A - 3
5	坂本体育館	坂本1308-1	○	127 (70)	-	地震	土砂災害	2 - D - 3
6	ふれあいセンター槻川	坂本1561	-	57 (30)	-	地震	土砂災害	2 - D - 2
7	ふるさと館	大内沢703	-	86 (47)	-	地震	土砂災害	1 - D - 3
8	ふるさと館分館	白石936	-	29 (16)	-	地震	土砂災害	4 - C - 4
9	ふれあい広場グラウンド内	御堂549	-	-	600	地震	土砂災害	3 - A - 3
10	道の駅和紙の里駐車場	御堂441	-	-	140	地震	土砂災害	3 - B - 3
合計				828 (450)	740			

※小・中学校校舎は、災害対策本部の要請により避難所として開設します。
槻川小学校校舎 … 収容人員 365 人(196 人) / 東秩父中学校校舎 … 収容人員 360 人(193 人)
※収容人員の()内は、感染対策をした際の避難所収容人員です。

避難所種別	名称	所在地	防災倉庫	収容人員	災害種類		座標
1	保健センター(福祉避難所)	坂本1284-1		179 (98)	地震	土砂災害	2 - E - 2

災害ごとの指定基準について

災害の種類	指定基準
洪水	・国または埼玉県が水防法に基づき指定する「洪水浸水想定区域」外に立地していること。 ・「浸水想定区域」の区域内に立地する場合は、洪水(内水氾濫を含む)に対して安全な構造で、想定水位以上の高さに避難スペースがあること。
土砂災害	・土砂災害防止法に基づき埼玉県が指定する「土砂災害警戒区域」および「土砂災害特別警戒区域」の区域外に立地していること。 ・「土砂災害警戒区域」および「土砂災害特別警戒区域」の区域内に立地する場合には、原則としてＲＣ造(鉄筋コンクリート造)またはＳＲＣ造(鉄骨鉄筋コンクリート造)等であること。
地震	・昭和５６年６月１日の建築基準法施行令改正以降の新耐震基準に適合するなど地震に対して安全な構造であること。

避難方法について

「避難」とは「難」を「避」けることであり、必ずしも避難所へ行く必要はありません。また、「避難＝避難所」ではありません。

避難の流れ

- ①「在宅避難」

ハザードマップで自宅付近に色付けがなく、安全が確保できる場合は、「在宅避難」を考える。
在宅避難に備えて、最低３日分の食料・飲料水・薬・日用品などを備蓄しておく。
- ②「親戚・知人宅への避難」

「在宅避難」が難しい場合は、安全な場所へ避難する。
コロナ対策のためにも避難所へ行かず安全な場所にある「親戚・知人宅への避難」を検討する。
- ③「指定避難所へ避難」

「在宅避難」や「親戚・知人宅への避難」が難しい場合は、指定避難所へ避難する。